

主な出来事

【内政】

- 国民議会通常国会の開催
- 上院議会通常国会の開催
- ンゴンデ首相による国民対話の予備作業に係る報告書の提出
- ンズバ・ンダバによる新党設立
- 国民対話の開催

【外政】

- ムベレ・ブベヤ外相によるグテーレス国連事務総長との会談
- ムベレ・ブベヤ外相と当地外交団との会合

【経済】

- ボンゴ大統領による投資高級会合の開催
- ボンゴ大統領による中国・トルコ企業代表との会談
- BAD支援：８億７００万CFAフラン
- ガボン政府による国債発行：計１，２７０億CFAフラン

【内政】

１ ジャン・ピンによる地方訪問

１日、ジャン・ピンによる「新共和国のための連盟」は、ウォレウ・ンテム州、ングニエ州、モワイヤン・オグエ州の訪問を開始した。ウォレウ・ンテム州オイエムにて開催された政治集会には、ンズバ・ンダマ、オイエ・ンバ、レオン・ポール・ングラキア、ディジョブ・ディヴンギ・ディ・ンディンゲ他が出席した。（２日付UN）

２ 国民議会通常国会の開催

１日、オヌビエ国民議会議長は、イソゼ・ンゴンデ首相、政府関係者、外交団臨席のもと通常国会の開催を宣言した。同議長は、国家の継続的な発展に向けた公金支出の正常化について強調したほか、国民対話のイニシアティブについて高く評価した。（２日付UN）

３ 上院議会通常国会の開催

１日、ルーシー・ミレブ・オブッソン上院議長は通常国会の開催を宣言し、国民年金、戸籍関係、報道機関の発展に向けた国家基金の創立、再生可能エネルギーの促進等、今会期に審議される法案について言及した。（２日付UN）

４ ンゴンデ首相による国民対話の予備作業に係る報告書の提出

２日、イソゼ・ンゴンデ首相は、アリ・ボンゴ大統領に対して、国民対話の実施に向けたアドホック委員会作成の予備作業に係る報告書を提出した。同報告書は、制度機構の改革、法治国家の強化、選挙制度改革、国民融和といった項目で構成されている。（３日付UN）

5 ンズバ・ンダバ他によるANG入党

6日、セラファン・ダヴィン・アクレ新しいガボンのための同盟（ANG）党首は、ンズバ・ンダバ、レオン・ポール・ングラキアのANG入党を発表した。（7日付UN）

6 ンズバ・ンダバによる新党設立

11日に開催されたANG第2回臨時党大会にて、党名をANGから「民主主義者（Les Démocrates）」に改名することが決定され、ンズバ・ンダバが同党の党首に就任した。（13日付UN，13日付GR）

7 PDG設立49周年式典の開催

12日、リーブルビル市ジャルダン・ボタニックにて、与党ガボン民主党（PDG）設立49周年式典が開催された。（13日付UN）

8 RPG党会合の開催

16日、ガボンのための結集党（RPG）党会合が開催され、ンバ・アボソレ党首は、9または10月にRPG次期党首選挙を実施する旨発表した。（18日付UN，19日付GR）

9 ガボン不正利得撲滅委員会による公金不正使用に係る報告

ガボン不正利得撲滅委員会（CNLC EI）は、2006年から2012年のうち、ガボン国家予算の2分の1以上にあたる2兆7,600億CFAフランが消失し、6,000億CFAフランが、予算・公金部局を通じて、不正に業者に支払われた旨公表した。（26日付GR）

10 国民対話の開催

28日、アリ・ボンゴ大統領は、国民対話の開催を宣言した。1,200の市民社会グループ、52の政党が参加し、大統領任期の短縮、2回投票制の実施、副大統領ポストの新設、選挙関連法、独立常設選挙委員会（CENAP）及び憲法裁判所の役割、法治国家・人権の強化、社会融和等について議論が行われる。（29日付GR，28日付AFP）

【外政】

1 ムベレ・ブベヤ外相によるグテーレス国連事務総長との会談

3日、ムベレ・ブベヤ外相はグテーレス国連事務総長と会談し、国民対話他について意見交換を行った。国連は、調停者として国民対話に参加する。（6日付UN，6日付GR）

2 ムベレ・ブベヤ外相と当地外交団との会合

22日、ムベレ・ブベヤ外相は駐ガボン外交団を招いて、2017年の外交課題、経済再建計画、国民対話等について説明を行った。同大臣は、28日から開催される国民対話について、①国家制度の改革、②選挙改革、③公的生活の刷新、④平和及び国民統合の強化の各テーマに沿って議論が行われる旨説明した。（24日付UN）

【経済】

1 ガソリン価格の値上げ

2016年1月付法令に基づき、ガソリン価格の改訂が行われ、ガソリンは565CFA

フランから580CFAフランに、軽油は495CFAフランから510CFAフランに値上げされた。(2日付UN, 1日付GR)

2 ガボン政府及びSEEG社によるコンセッション契約の延長

ガボン政府及びガボン電力・水道会社(SEEG)社は、今後5年間のコンセッション契約の延長に署名した。(6日付GR)

3 CPG議長の就任

6日、先月の議長選挙にて選出されたアラン・バ・ウマルが、ガボン経営者連盟(CPG)議長に就任した。同議長は、CPGの課題として、債務、雇用関連法の改善、中小企業訓練のほか、民間セクターの強化に向けた2017-2020年の計画実施、ガボンのビジネス環境の改善を挙げた。(6日付GR)

4 ボンゴ大統領による投資高級会合の開催

7日、アリ・ボンゴ大統領は、民間セクターの活性化、国家経済の振興、雇用の促進を目的として大統領府において開催された投資高級会合の議長を務めた。(8日付UN)

5 ボンゴ大統領による中国・トルコ企業代表との会談

8日、投資高級会合に続き、アリ・ボンゴ大統領は、China State Construction Engineering Corporation, China first highway engineering, Tebian electric apparatusの各社代表と懇談した。ガボンにおける中国企業数は約30社で、貿易額は直近8年間で5倍増の17.7億ドルに達した。また、アリ・ボンゴ大統領は、トルコAKSA電力グループ代表とも会談した。(13日付GR)

6 Maurel&Prom: ガボンにおける石油埋蔵量(1億5,770万バレル)

Maurel&Promは、ガボンにおける同社の石油埋蔵量は、推定量1億5,950万バレルに比べ、0.9%マイナスの1億5,770万バレルである旨発表した。(16日付UN)

7 「コンゴ盆地のための青の基金」創設

9日、アンゴラ、ブルンジ、中ア、コンゴ(共)、コンゴ(民)、ガボン、モロッコ、ルワンダ及びチャドの9か国は、「コンゴ盆地のための青の基金」の創設で合意した。同基金は、温室効果ガス削減、水産エコシステムの保護、森林保護を目的に用いられる。(16日付UN)

8 イモンゴ・タタガニ経済大臣による経済情勢分析

17日、イモンゴ・タタガニ経済・計画・開発計画大臣は、中部アフリカ銀行(BEAC)総裁の臨席のもと、通貨・金融委員会、政府金融機関評議会を開催し、2016年12月31日までの経済情勢について分析したうえで、ンジョレのマンガン採掘の再開、林業、農業分野の好況が2017年の経済成長に繋がる旨結論づけた。(20日付UN)

9 BAD支援: 8億700万CFAフラン

17日、ガボン及びアフリカ開発銀行(BAD)は、約8億700万CFAフランに上る資金供与協定に署名した。同資金は投資環境整備を通じた産業多角化、人間開発、気候変動対策、持続可能な経済発展等に用いられる。(18日付UN)

10 ガボン政府による国債発行: 計1,270億CFAフラン

27日の閣議にて、ガボン政府によるBADからの555億CFAフラン、イスラム開発銀行からの715億CFAフランの借款に関する法案2件が承認された。(29日付UN)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリブル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP 紙),EN(エコー・ノール紙)